

下からはまだ報告はないものと思われる。

(〒230 横浜市鶴見区潮田町3-138-1)

長野県扉温泉でムネモンヤツボシカミキリ

林 良一

1972年3月19日に長野県松本市外の扉温泉から持ち帰ったサルナン材を、帰宅後の同年4月2日に割ってみたところ、ムネモンヤツボシカミキリ *Saperda tetrastigma* BATES 1♂ (成虫) が出てきた。

扉温泉の早川広文氏によれば、同地での採集例を聞かないということなのでここに報告しておく。

なお、同じサルナン材からは後日に多数のアカネカミキリ *Phymatodes maaki* (KRAATZ) が脱出した。

(〒154 世田谷区上馬5-38-3)

ムネモンウスアオカミキリ石垣島の記録

杉野 広一



台湾原産のムネモンウスアオカミキリ *Pareutetrappa magnifica* (SCHWARZER) は、わが国からは八重山諸島西表島での3例の報告^{1),2)}があるが、筆者は石垣島から採集できたので報告しておく。

1♂, 石垣島オモト岳, 11. IV. 1973, 杉野広一採集

なお、この個体は頭部と前胸の青い f. *unicolor* である。

1) 小島・林・国吉・渡辺: 高知大学学術研究報告

14, 自然科学Ⅱ No. 9, p. 99, 1965

2) YOKOYAMA, H.: Ent. Rev. Japan 23(2), p. 100, 1971

(〒663 西宮市上大市4-148)

伊豆御蔵島のカミキリ2種

藤田 宏

1. ハネナンチビカミキリ

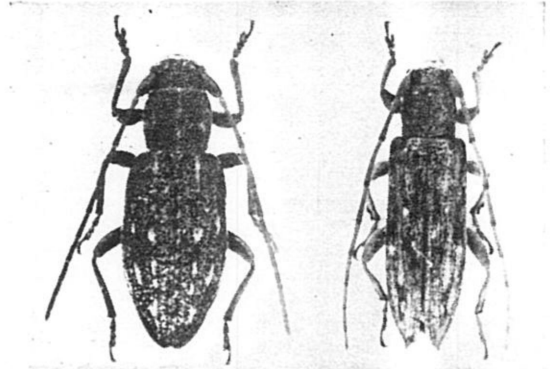
Palausybra hachijoensis HAYASHI

1♂, 御蔵島黒崎高尾, 30. VII. 1973, 藤田宏採集
伐採木のピーティングによる。

1♀, 御蔵島川田, 1. VII. 1973, 藤田宏採集

シイ倒木のまだ枯葉が付着している枯枝のピーティングによる。

本種は東南アジア(パラオ諸島)に同属種をただ1つもち、また形態的にも写真に示すように、一見アカガネカミキリにも似る?という特異な種である。



左: ハネナンチビカミキリ 右: アヤモンチビカミキリ

八丈島(原産地)と御蔵島より記録されているが、八丈島では原記載(1958年)以来採集された話は聞かず、また御蔵島においても数例のみで最近では得られていなかったものため、報告しておきたい。

2. アヤモンチビカミキリ *Sybra ordinata* BATES
1 ex., 御蔵島里, 1~8. VII. 1973, T. NOMURA・T. AKIYAMA 採集

種子島以南の島々には普通に産し、四国・九州にも分布するが、本州からは確実な記録を知らない。もちろん伊豆諸島からの記録も従来なかったもので(沢田・渡辺(1969)の記録はミクラチビカミキリ *Sybrodiboma mikurensis* HAYASHI のことである)、今回が伊豆諸島としては初めてと思われる。

(〒110 台東区台東2-29-6)

屋久島でオニホソコバネカミキリ♀を採集

川田 一之



筆者は、1973年7月に屋久島を訪れた際に、オニホソコバネカミキリ *Necdalis gigantea* KANO ♀を採集した。これまで♂は3頭得られているが、♀は初めてと思われるので報告する。

1♀, 屋久島白谷, 21. VII. 1973
土場を飛んでいる所を採集。

この個体は、群馬県大沢産のものと比較すると、触角がいくぶん長く、細い体をしている。

なお、この土場では数日の間に、本種のほかキスジトラ(subsp. *ka-makarii*)・ムモンチャイロホソバネ・トラフホソバネ・アラカワシロヘリトラ・ヤクシマミドリ等のカミ